

平成24年度 林業普及指導員全体研修会

「各普及区における普及活動の取組」

平成24年度林業普及指導員全体研修会を去る1月31日、盛岡市志家町のサンセール盛岡会議室において開催しました。

本研修会は、林業普及指導員の資質向上を目的に毎年開催されており、今年度は、「各普及区における普及活動の取組」をテーマとした活動事例発表、東北ブロックの准フォレストセンター研修会内容の伝達及び林業技術センター東野首席専門研究員兼研究部長による特別講義を行いました。



伊藤所長あいさつ

1 普及活動事例発表会

各普及区における地域課題の解決に向けた取組など、各地区代表の林業普及指導員がパワーポイントを使った発表を行いました。

今年度の発表内容は、森林施業の集約化（森林経営計画の作成支援を含む）を必須課題とし、そのほか、



事例発表質疑

2 准フォレストセンター研修の伝達

平成23年度から開始された准フォレストセンター研修について、准フォレストセンターの位置付けや、今後育成されるフォレストセンターの役割・活動内容について林業技術センター太田首席林業普及指導員兼研修部長が説明し、森林・林業再生には、林業技術者の育成・確保が不可欠と締めくくりました。

3 特別講義

「木材利用の研究と林業普及指導を振り返って」と題して、林業技術センター首席専門研究員兼研究部長東野正氏を講師に特別講義を行いました。

東野さんは、平成25年3月末をもって県職員を定年退職されたわけですが、木材の研究職34年、林業普及担当4年の経験から、これまで行ってきた試験研究について試験機の無い時代の苦労話などを交えて話



特別講義

をされました。また、林産関係の普及指導について、必要な基礎知識や製材工場で製材作業をどのような観点から見ればいいのかを説明し、林業普及指導員ができるだけ各管内の製材所に向くようにと後輩を激励されました。

林業技術センター普及班

019 (698) 1337

